

設置説明書



はじめに




- この説明書をよくお読みの上、正しく設置をしてください。
- 設置は、必ず専門の取付工事業者に依頼してください。
- 製品が間違っていないか、付属品がきちんとそろっているか、お確かめください。
- 設置するにあたり、以下の部品および工具をあらかじめご用意ください。
 - 後打ち式めねじ形メカニカルアンカー(φ3/8・埋め込み長さL=45以上) ×6
 - プラスドライバー
 - スパナ(17番)
 - 弊社のスクリーン取付金具(A-10P)
- 設置後は、この説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者(運用責任者)へお渡しください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、必ずお守りください。

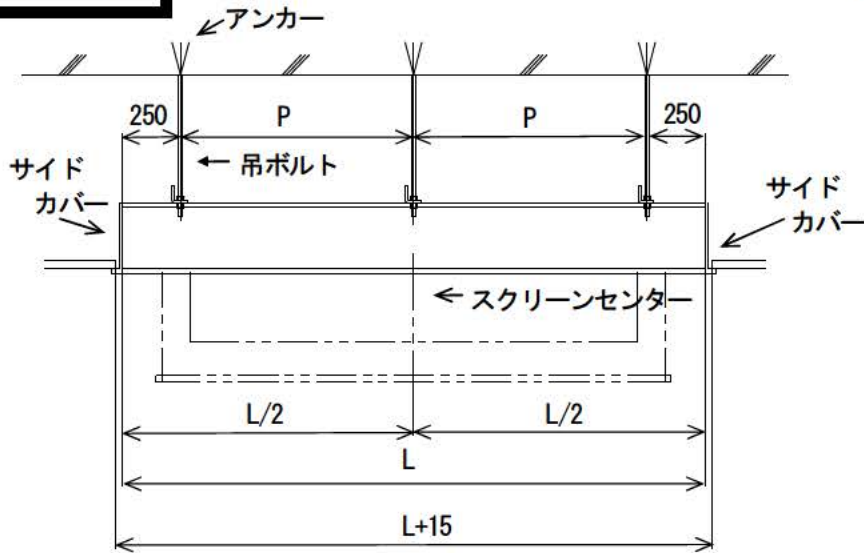
警告 この表示欄の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があります。

警告

 強制	<p>組み立ておよび設置は必ず専門技術者が2人以上で行う</p> <p>1人での作業や不慣れな組み立て・設置は、思わぬけがや、本機が落下する恐れがあります。</p>	 強制	<p>設置場所の強度確認の上、質量に耐える場所に設置する</p> <p>強度が不足している場合必ず補強してください。思わぬけがや、本機が落下する恐れがあります。</p>	 分解禁止	<p>分解はしない</p> <p>分解やねじ類をゆるめると、本体の脱落の恐れがあります。修理や点検は、取扱店または当社に相談してください。</p>
--	--	--	--	--	---

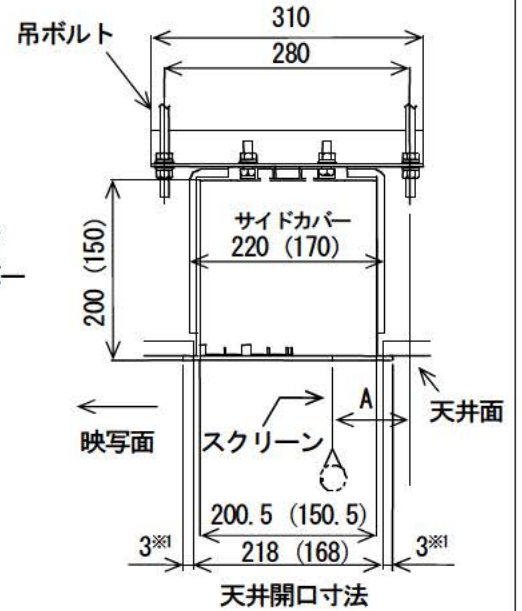
取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

仕様



天井開口寸法

型式	L (mm)	P (mm)	質量 (kg)	A寸法 (mm)
LT-120VS	2880	1190	31.0	118
LT-150VS	3490	1495	40.0	118
LT-170VS	3900	1700	55.5	107
LT-200VS	4560	1353	64.0	107
LT-120HS	3100	1300	32.0	118
LT-150HS	3770	1635	41.5	118
LT-170HS	4250	1250	58.5	107



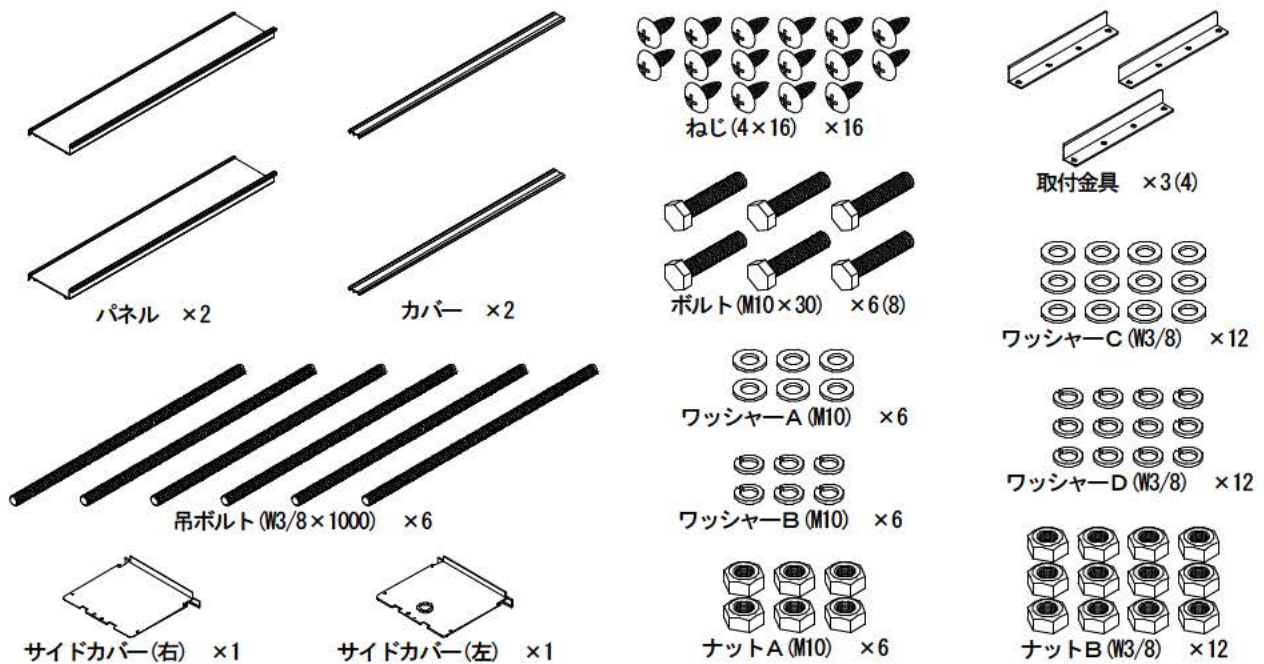
天井開口寸法

※1 アルミボックスを後施工で取り付ける場合のサイドカバー部切込み寸法
 () は LT-120VS、LT-150VS、LT-120HS、LT-150HS を示しています。

アンカー取付けピッチ (P) は、 $L \geq 4000$ mm (3 等分) は吊ボルト前後各 4 ヶ所の取付けです。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品の確認



※保護カバー (“保護カバー” と記載しているダンボール) は設置完了後使用します。

設置要領

[はじめに] パーツには取り付け箇所、取り付け方向が決まっていますので図および説明文をよく確認して組み立ててください。

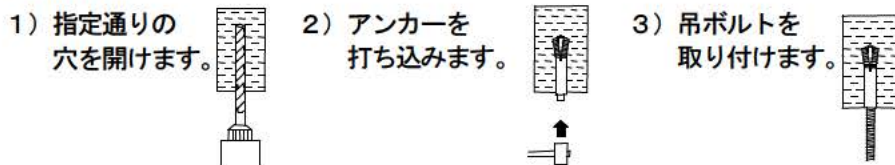
※ スクリーン本体はアルミ製スクリーン天板に取り付けず、傷のつかないように置いておきます。

※ ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損する恐れがあります。

1. アンカーの取り付け

吊ボルトの位置に合わせ、市販品の「後打ち式めねじ形メカニカルアンカー (M3/8 埋め込み長さ=45 以上)」をメーカーが指定する施工方法で確実に取り付けます。

●取付け例



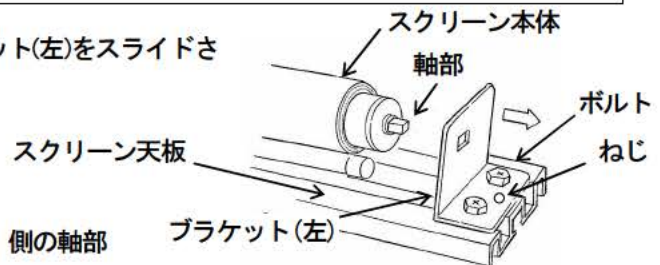
2. スクリーン天板からのスクリーンの取り外し

1) スクリーン生地を約 30 cm 引き出して戻し、ロックがかかっている事を確認します。

⚠ 注意

必ずロックがかかっている事を確認してください。ロックがかかっていないとばねが急にもどり、けがをする恐れがあります。

2) ねじを取り外します。次にボルトを緩めてブラケット(左)をスライドさせて本体を取り外します。



ロックがはずれた場合の対応

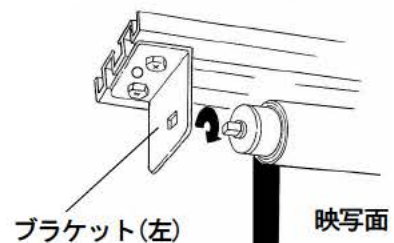
ロックがはずれてバネが戻った場合、ブラケット(左)側の軸部をスパナ等で時計回りに回して調整してください。

この時、ロックを確認しながら慎重にバネを巻いてください。バネが勢いよく戻り、けが等の恐れがあります。

型式	巻数 (回)
LT-120S	12
LT-150S	10

※ 表の巻数は目安です。

巻数は生地の種類などにより異なりますので、一度取り付けてスクリーンの上げ下げを行い、巻き取りが強いまたは弱い場合は、バネの巻数を±1~2回の加減調整(巻き取りが弱い場合は時計回りに、強い場合は反時計回りに)してください。



3) 後の「3. アルミボックスの組み立て」の2)工程のため、天板の前後がわかるように印を付けておいてください。

3. アルミボックスの組み立て

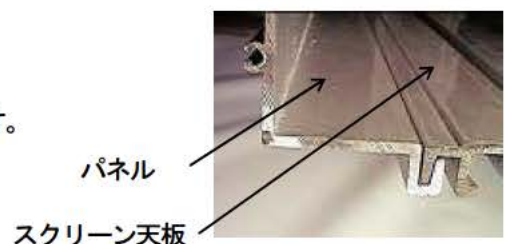
1) 所定の長さに切断した吊ボルトをスラブのアンカーに取り付けます。

吊ボルト長さ

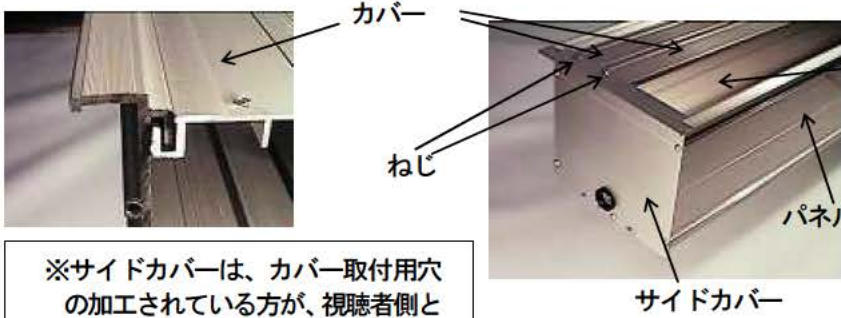
ボックス高さ 150 mm の場合・・・(天井フトコロ) -50 mm

ボックス高さ 200 mm の場合・・・(天井フトコロ) -100 mm

2) スクリーン天板にパネルを取り付けます。



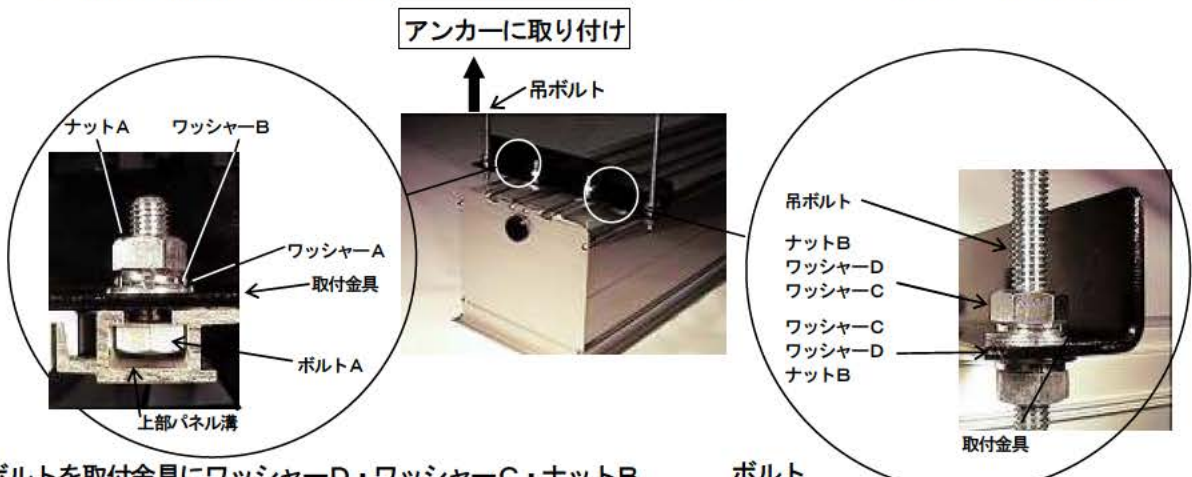
- 3) カバー2枚をスクリーン天板の上に置いておきます。次にサイドカバー(左)(右)をねじ6本で取り付けます。
- 4) カバー2枚をねじでサイドカバー(左)(右)に仮固定します。



※サイドカバーは、カバー取付用穴の加工されている方が、視聴者側となります。

注意
 カバーは2枚共必ずねじでサイドカバー(左)(右)に固定して下さい。
 脱落による障害の恐れがあります。

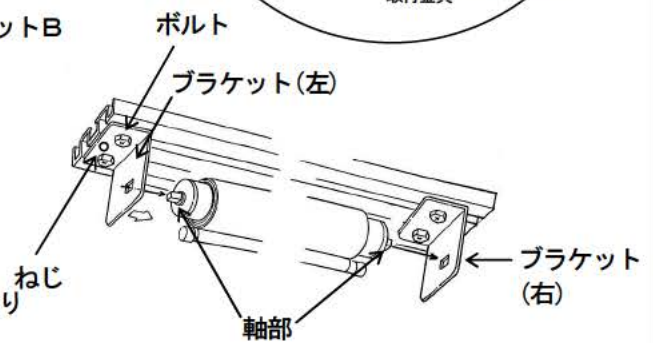
- 5) スクリーン天板を上方向にします。次に上部パネル溝部にボルトを各3本 計6本 (L=4000mm以上は各4本 計8本) を差し込みます。
- 6) 差し込んだボルトを吊ボルト位置に合わせ、取付金具・ナットA・ワッシャーA・ワッシャーBで取り付けます。



- 7) 吊ボルトを取付金具にワッシャーD・ワッシャーC・ナットBで取り付けます。

4. スクリーン天板へのスクリーンの取り付け

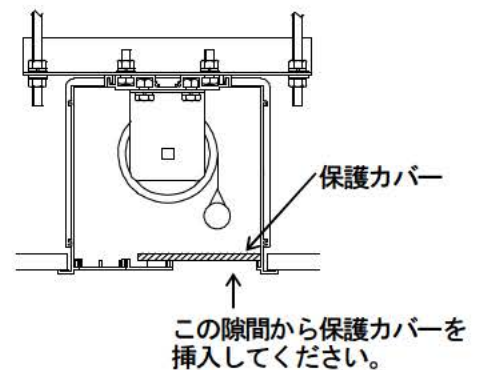
- 1) 固定したカバーのねじを取り外し、パネルに沿うように立て掛けます。
- 2) ブラケット(右)にスクリーンの軸部を差し込みます。
- 3) ブラケット(左)をスライドさせ、軸部に挿入し最初に取り外しねじを締め付けます。次にボルトを締め付けます。
- 4) 最後にカバーをしっかりと固定します。



5. 保護カバーの取り付け

周辺の工事期間中、ほこり等からスクリーンを保護するために、右図の位置に保護カバーをセットしてください。工事終了後は保護カバーを取り外してください。

※ 取り付けの際、スクリーンにキズの付かない様十分注意してください。



株式会社 **オーエス**
 株式会社 **オーエスプラス**
 コンタクトセンター
 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
 TEL: 0120-380-495 FAX: 0120-380-496 (受付時間: 平日 9:00~18:00 ※土日祝日を除く)
 E-mail: info@os-worldwide.com
 ※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
 TEL: 03-3629-5211 FAX: 03-3629-5214